



あしたをひらく

町 地 太
重 尊 人
会 委 員 推 進

[No.40]

赤ちゃんが生まれたよ。なまへは、はづきです。八月に生まれました。生まれるまえは、「はやく、生まれてきてほしいな」とおもいました。生まれてきて、うれしかったです。

はづきくんは、かわいいです。わらっています。よくなきます。はづきくんのまえで手をうごかすと、わらってくれます。かわいいです。あたまをさわったら、やわらかくて、かみのけがふわふわで、気もちよかったです。

わたしは、いつも学校からかえったら、すぐにあいにくきます。ないているときもあるし、ねているときもあります。このまえ、え本をよんであげました。ふしぎそうなかおをして、とつてもかわいかったです。

おかあさんは、ミルクをあげるのがたいへんそうです。

かわいい赤ちゃん

一年 つばい えみか

太地小学校

だいぶ前、お母さんが赤ちゃんをうむために、にゅういんすることになりました。それで、その日お父さんがごはんを作ってくれました。お父さんが作ってくれたごはんは、やきそばでした。お父さんのやきそばは、おいしいです。ほくが、お父さんに、「やきそば、おいしい。」と言ってあげたら、お父さんがよろこんでくれました。それから、夜にお父さんしかいなかったから、ほくが妹をおふろに入れてやったら、お父さんが、「ありがとう。」と言ってくれました。そして、お父さんが、「もう、ねなよ。」

ぼくのお父さん

二年 石田 りょうが

と言ったので、ぼくはねました。しばらくたって、赤ちゃんがうまれて、お母さんと赤ちゃんが家に帰ってきました。お父さんは、赤ちゃんをだっこして、「赤ちゃん、かわいい。」と言って、とてもうれしそうにしていました。ほくも、赤ちゃんをだっこしました。ないたけど、かわいかったです。赤ちゃんが、ぶじにうまれてよかったです。そして、赤ちゃんがうまれるのをまつ間、お父さんとすごした夜が楽しかったです。

お父さん、ありがとう。

言葉の大切さ

三年 筋師 隼

わたしには、二さいはなれた兄がいます。わたしたちは、いつもは仲が良いけど、一度けんかをすると、止まらなくなりません。

この前、家で兄とけんかをしてしまいました。そのとき、わたしは、「一生、口をきかない。」

八月二十日にほくに弟ができました。体重はちょうど三キログラム、身長だいたい四十七センチメートルです。お母

赤ちゃんが生まれた

四年 つば井 ゆう守

(二面へ続く)

などの映像は、当時の私は保健所がどうなっているのかをあまり知らなかったため、とてもショックでした。犬や猫はこんなにも可愛く、何も悪いことをしていないのにどうして？と、まだ小学生だった私はずっと疑問に思っています。でも今ではわかります。殺処分という残酷なことが行われてしまうのは、私たち人間のせいではないのか、と。犬や猫などを遺棄しているのは人間で、何も悪いことをしていないのに、虐待をしてしまっているのも人間だからです。私が以前読んだ本には「思ったよりも大きくなったからもう要らない。」という、たったそれだけの理由で自分の犬を保健所の人に押しつけて帰ってしまう、という場面がありました。「思ったより」という人間の感情に振りまわされ、自分のいちばん大切な人に捨てられてしまった時、犬はどう思っているのでしょうか。きつと悲しくて、不安に思うはずですが、犬には人間の言葉は分からなくても、表情は分かるはずで、それは、大好きな飼い主の顔を毎日毎日

日見ていたからではないでしょうか。そんな飼い主の最後の表情が怒りや悲しみの表情だった時、想像するだけでもとても悲しいことです。

二〇二三年度での犬と猫の殺処分数は約九千頭でした。十一年前の二〇一二年度の約十六万頭に比べ、十五万頭以上も減少しています。ですが、九千頭でもまだまだ殺処分数〇頭には近くありません。〇頭にするにはどうすればよいのでしょうか。それは、私たち人間一人一人が動物たちのことをよく考えることだと思います。

犬や猫の殺処分のこと以外にも動物に関する問題はたくさんあります。外来種問題や地球温暖化による動物たちの生息地の減少、絶滅危惧種の増加などです。これらの問題が起きている理由はどれも人間によるものです。初めに述べたように、人間と動物のいちばんの共通点は「心」だと思います。なので、動物にも人間と同じように、自由に生きる権利があるべきだと、私は強く思いました。

環境問題

三年 庄司 イザナギ

去年、僕は環境問題について書きました。今年により詳しく書こうと思います。環境問題が大きく進行したのは1970年代です。そして、技術力の向上により地球の大気が明らかになり、1985年にはオーストリアのフィラハで行われた環境問題に関する世界会議でCO2による地球温暖化の影響が取り上げられました。これにより、1988年には地球温暖化の科学的検討の場として「IPCC」が設立されました。2007年に発表された第4次評価報告書では「我々を取り巻く気候システムの温暖化は決定的に明確であり人間の活動が直接的に関与している」と、人間の活動で気候変動が起こっていることを指摘し、この問題解決に向けて2015年にはパリで「COP21」による温室効果ガスの排出削減への世界的な取り組みがされています。

また、聞いた話によると、

かつては潮岬の夏は、27度から28度だったそうです。しかし、現在では34度まで気温が上がっています。60年の間で7度も上昇していることになりました。気温の上昇に伴って北極の氷が溶け、これによって海水の水位が上がっていくという奇妙な環境になっていきます。例えば地球全体で少しでも暑くなれば、生態系に致命的な影響を与えます。そして、動植物の生態域の変化による絶滅のリスクの増加がみられます。絶滅危機の要因が地球温暖化とされている生物は今で8000弱種となっています。そして、この数は2003年から少しずつ増加し、16年後の2019年から爆発的に増え、2019年から6年経過した現在までで約2800種から約7800種にまで増加しています。たった6年で5000種も増加することはとても異常なことです。

これらの資料では、地球温暖化によって地球の平均気温が4度以上上昇する場合には、種の半数近くが危機に晒されるとの研究報告もあります。

あとがき



「人権」とは、「人間が人間らしく生きる権利で、生まれながらに持つ権利」であり、誰にとつても身近で大切なもの、違いを認め合う心によって守られるものです。今回の作文にあるように身近に起こった事を自分の言葉で周囲に伝え、みんなでその思いを共有し、認め合う事が大切だと思います。皆さんも、まずは友達や身近な人の話を聞いてあげてください。